

青少年もがみ

第19号 平成26年2月3日

—発行—

最上地区青少年育成連絡協議会

提言 「みんなで子どもを見守る環境づくりを」

新庄市青少年育成市民会議会長 佐藤 太朗

互いにあいさつを交し合うという事は、なんと気持ちのよい、爽やかなことか。

挨拶運動の時や、交通指導、登下校で子ども達と出会ったとき、近所同士等で大きな声で「おはようございます」と言う、「おはようございます」返事が全員から返ってきます。あいさつで一日の元気を戴いた気がします。

社会情勢の変化に伴って、プライバシーの尊重、社会観念の変化、個人情報保護などで、地域のつながりの希薄化が進み、ご近所同士でも関わりを避けたい風潮が見られます。以前は、仲間はすれやいじめ、虐待などがあれば、近所の大人も入って、事が大きくならないうちに解決していたものです。

・・・懐かしい思い出になりました。

少子高齢化の中で、ご近所のつながりが、今こそ大切になってきていると思います。行政と地域の協

同活動により、互いに安心して生活ができ、自由に語り合える地域にし、子ども達が意欲的に育つ環境づくりをやっていくことが私達に課せられています。最上を担っていく子ども達が幸せに育ち、最上に生まれたことを誇りに感じる事が、地域の活性化と発展につながっていくと信じているからです。

そのためにも、地域での温かい大人達の見守り、地域の方のいろいろな分野での才能の発揮、伝統的な行事等の活動を行うことです。子ども達が享受できる環境づくりを、ご近所みんなで行っていくことが温かい見守りにつながっていくのです。例えば、祭りを中心とした、好ましい大人と子どもの交流、子ども会と老人クラブの交流、町内行事の伝承など多くの交流活動に積極的に参加できる企画作りも大切であると思っています。

平成25年度 これまでの主な事業

※青少年もがみ第18号掲載以降

全国「子ども・若者育成支援強調月間」

11月1日（金）～30日（土）

- 趣 旨 子ども・若者の健やかな育成、子ども・若者が社会生活を円滑に営むことができるようにするための支援や取り組みを行う。
- 取組み 『大人が変われば子どもも変わる』運動と兼ねて、各市町村で強調運動を展開。最上総合支庁では、庁内放送で職員や来庁者に呼びかけ、また、広報車による最上地区内街頭広報活動を実施しました。

「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動標語募集

○山形県・最上地区最優秀

「もうやめて」 聞こえてますか その言葉
最上中学校1年 森 一乃さん



健全育成県民大会での表彰式

- 県内の他のブロックから選ばれた標語とともに、森さんの作品は11月にテレビで放映されました。
- 最上地区からは小・中学生合わせて3,500人以上から応募がありました。

○最上地区優秀

いじめない ゆうきはみんなの むねにある
鮭川小学校1年 矢口 大和さん
“マジウザイ” ブログに書いた一言は
相手を突さすナイフに変わる
萩野中学校3年 指村 清楓さん
ゆるせない いじめる人も 見ぬふりも
最上中学校3年 金田 莉穂さん

山形県青少年健全育成県民大会

11月10日（土）12:40～ 鶴岡市中央公民館

- 参加者 青少年育成関係者 400名
(最上地区からは55名が参加しました)
- アトラクション
地域づくりや青少年の健全育成に貢献している団体が、元気な演技や演奏を披露しました。
- 山形県青少年育成県民会議表彰
個人7名・団体3団体が受賞
- 大会宣言の発表
- 「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動優秀標語の表彰および取り組み紹介
- 講演 「未来ある子どもたちのために」
講師：「おやじ日本」山形代表 和田 英光氏

最上地区「青少年育成推進員研修会」

11月16日（土）14:00～ 真室川町中央公民館

- 趣 旨
青少年育成推進員の一層の資質能力の向上と相互の交流を図る。
- 育成推進員の永年表彰
(最上総合支庁長名)
新庄市：森 富喜子氏
最上町：沼澤 崇氏
大蔵村：早坂千代氏
- 活動発表 各市町村の特色ある取り組みについて発表があり、質疑・協議を行いました。
- 講 話 「青少年育成推進員に期待すること」
講師：山形県青少年育成県民会議会長 柳谷 豊彦氏
- 参加者：青少年育成推進員等45名、来賓等3名



柳谷県民会議会長の講話